

情報提供のお願い

小田高樫友会資料委員会 石井敬士（2組）

小田高校史展示室に、本校美術教諭だった善波迪先生の絵「陽春の小田原城」が飾られています。

創立90周年にあたり、11期、15期の元美術部員たちが寄贈したものです。

本校同窓会の資料委員会では、この絵の詳しい来歴を把握し記録に残しておくために、この絵を寄贈した11期、15期の人たち全員または代表者を探しています。

当時の事情をご存じの方はどうぞ当サイト宛てご一報下さるようお願いいたします。

以上

（文責 下赤隆信 2組）



善波先生の絵「陽春の小田原城」

展示されている絵に添えられた解説パネルの文面

陽春の小田原城

本校の美術教諭だった善浪^{よしなみすすむ}迪先生の油絵。善浪先生と親交があった高校11回・15回卒業生の有志が作品の選定などを担当し、創立九十周年記念の同窓会事業として、この絵画を本校へ寄贈した。以来、図書館のあった南館2階の踊り場に飾られていた。

善浪先生は、伊勢原市善波に生まれ、東京美術学校（現東京芸術大学）卒業後、昭和27年の24歳から昭和59年の55歳まで、本校の美術教育に尽力された。美術部では、東京芸術大学の合格者を増やすことに努められ、昭和46年までに美術部から東京芸大への進学者は、建築科4名、工芸科7名、油絵科2名、日本画家1名、彫刻科1名を数えた。昭和54年からフランス美術家協会永久会員だった。



善浪先生と美術部員たち